

お知らせ

記者発表資料

令和2年10月1日

国土交通省 太田川河川事務所

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、岩国日刊記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

太田川・小瀬川で第1回流域治水協議会開催。

「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト」～いのちとくらしをまもる防災減災～

近年の頻発する激甚な水害に備えあらゆる関係者により太田川及び小瀬川流域全体で水害被害を軽減させる流域治水対策を計画的に推進するため、「太田川流域治水協議会」「小瀬川流域治水協議会」を設置しました。

今後、協議会において議論を進め、令和2年度末までに、「流域治水プロジェクト」を策定・公表する予定です。

今回の協議会では、各機関からの意見を踏まえて「太田川・小瀬川水系流域治水プロジェクトの中間とりまとめ」をしました。

1. 開催方法 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、書面にて開催
2. 開催日 令和2年9月28日（月）
3. 委員
太田川流域治水協議会
広島市都市整備局長、広島市下水道局長、府中町長、安芸太田町長、
広島県西部建設事務所長、広島県西部建設事務所安芸太田支所長、
太田川河川事務所長、温井ダム管理所長
小瀬川流域治水協議会
大竹市長、岩国市長、和木町長、山口県土木建築部長、
広島県西部建設事務所廿日市支所長、
太田川河川事務所長、弥栄ダム管理所長

オブザーバー 中国電力（株）西部水力センター所長

4. 議事 流域治水プロジェクト【中間とりまとめ】について
会議資料については、太田川河川事務所ホームページに掲載します。

<問い合わせ先>

中国地方整備局 太田川河川事務所

電話 082-221-2436（代表）：（平日・昼間）

【担当】 副所長 兼重 和明 かねしげ かずあき

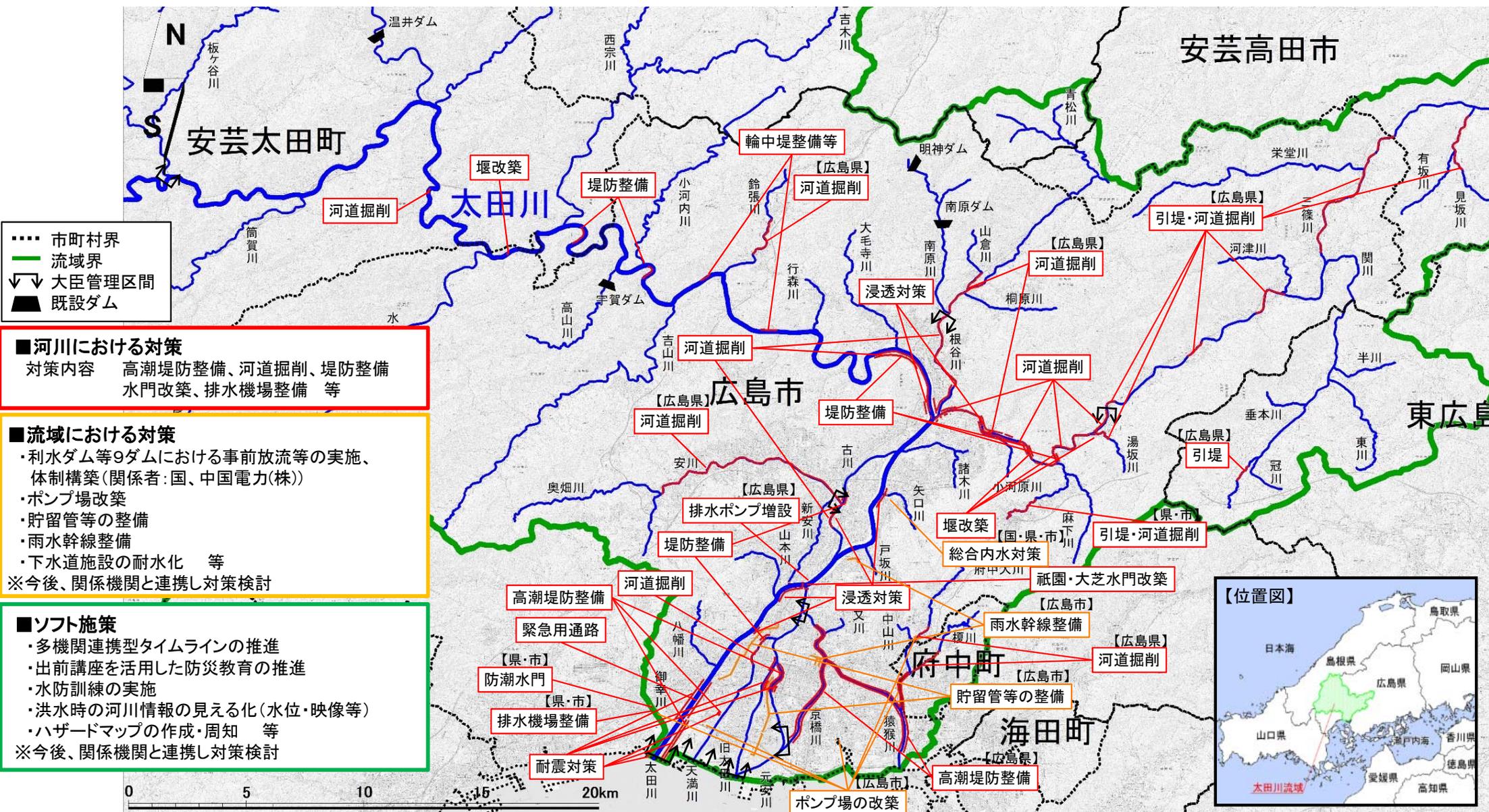
専門調査官 坂本 和雄 さかもと かずお



太田川水系流域治水プロジェクト【中間とりまとめ（令和2年9月末時点）】

～水の都ひろしまを守る流域治水対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、太田川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の平成17年9月洪水と同規模の洪水に対し下流デルタおよび下流部では安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

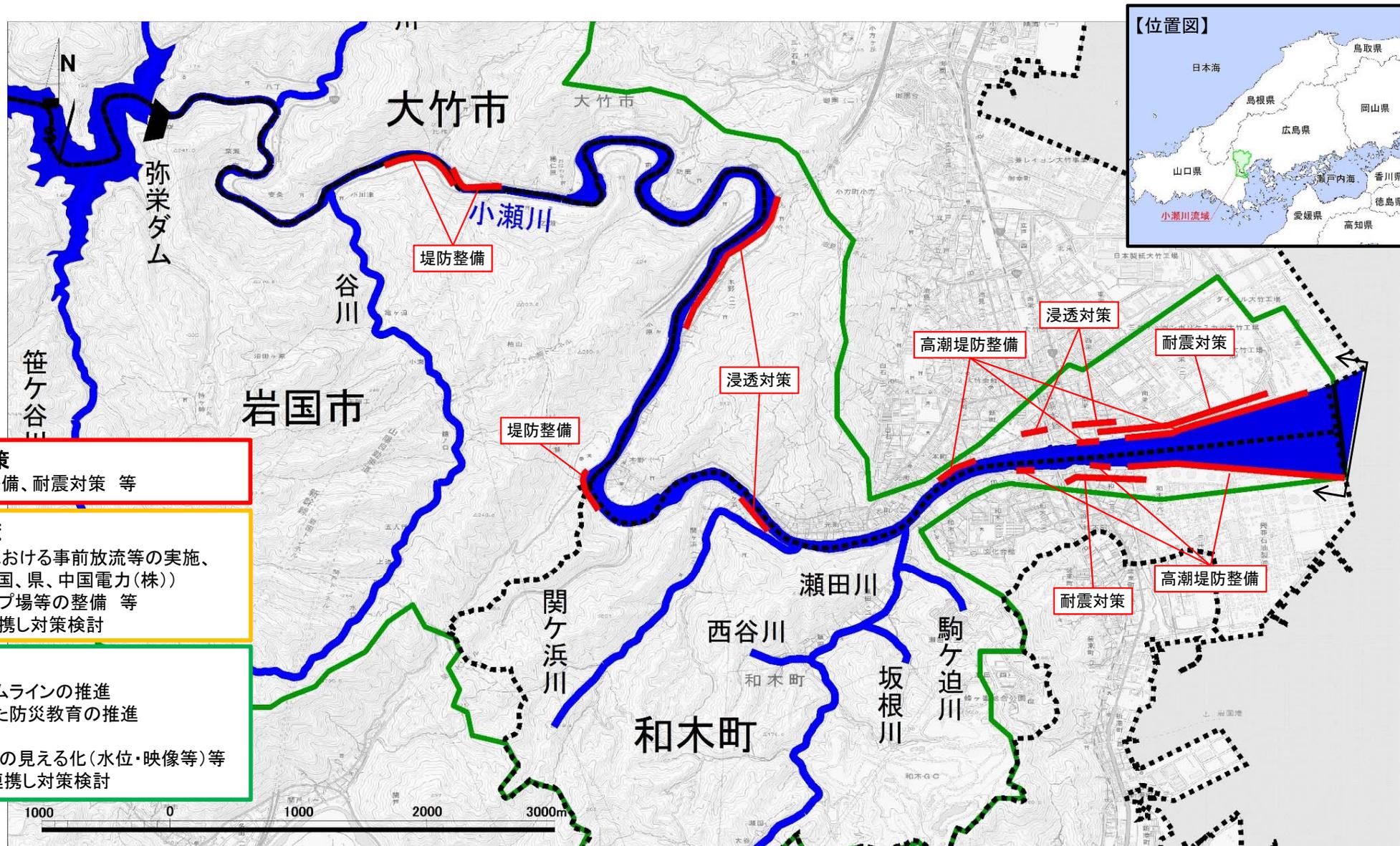


※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

小瀬川水系流域治水プロジェクト【中間とりまとめ（令和2年9月末時点）】

～コンビナートを中心とした地域の産業と暮らしを守る流域治水対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、小瀬川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の平成17年9月洪水と同規模の洪水に対し、家屋等の浸水被害を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。